

金融調査研究会について

金融調査研究会は、銀行経営に影響する金融・財政問題の理論的な調査・研究を行うことを目的に、金融・財政等に携わる研究者を委員とする研究機関として、昭和59年に全銀協内に設置した。座長には、貝塚啓明中央大学研究開発機構教授が就任しており、現在のメンバーは下記のとおりである。

本研究会は、金融分野のテーマを取り上げる第1研究グループと、財政・政策金融分野のテーマを取り上げる第2研究グループの2つのグループから構成されており、今回の報告書は、第2研究グループの平成17年度の研究成果を取りまとめたものである。

なお、研究会の事務局は全銀協金融調査部が務めている。

記

金融調査研究会委員名簿(平成18年3月現在)

座長	貝塚 啓明	中央大学研究開発機構教授(第1、第2G)
主査	清水 啓典	一橋大学大学院商学研究科教授(第1G)
	井堀 利宏	東京大学大学院経済学研究科教授(第2G)
委員 (五十音順)	岩本 康志	一橋大学大学院経済学研究科教授(第2G)
	小藤 康夫	専修大学商学部教授(第1G)
	前多 康男	慶応義塾大学経済学部教授(第1G)
	吉野 直行	慶応義塾大学経済学部教授(第2G)
	渡辺 努	一橋大学経済研究所教授(第1G)
研究員	土居 丈朗	慶応義塾大学経済学部助教授(第2G)
	中里 透	上智大学経済学部助教授(第2G)
	柳川 範之	東京大学大学院経済学研究科助教授(第1G)

以上